

# 中野十中同窓会の活動について

卒業生の皆さんは十中の60回目の卒業生(60期生)として卒業を迎え、同窓会の新たな会員となります。母校は一昨年、開校60周年の年を迎えましたが、同窓会は開校60周年関連以外にも母校とも連携して、様々な活動を進めています。ここで、その概要をお知らせします。

母校は平成18年度に入学生が18名という状況になり、同窓会も母校の要請に応じ、入学者数増加に向け積極的に活動を進めてきました。先生方をはじめ多くの方の努力が実り、入学生も増え、各学年2、3学級の学級数を確実に維持できるようになりました。本年度は昨年に続き、この10年来で在校生が最も多くなり、232名となりました。

同窓会では母校の在校生のクラブ活動等への支援、紅白幕や司会者台の寄贈などを積極的に行っています。卒業式、入学式には同窓会の代表者が出席しています。卒業生を同窓会に迎える入会式を本日のように毎年実施し、同窓会入会費(一人500円)を頂いています。新入生全員に校歌のCDを贈呈してきました。これからはDVDを贈呈します。

## 1. 卒業生の総数

本年3月に卒業する60期生は74名で、卒業生は1期生～60期生までで、11,492名に達しました。

## 2. 母校開校60周年記念事業への連携

同窓会はPTA、薫風会の皆さまと共に、中野十中としての最後の周年行事となる開校60周年記念行事の実行委員会を形成し、祝賀会などの記念事業を連携して推進しました。また、中野十中60周年記念誌(同窓会版)を刊行し、皆さんにも配布しました。

## 3. 同窓会ホームページ(HP)の運営

同窓会はHPにより卒業生の交流や情報連絡に役立てています。年5万円程度の維持費用(プロバイダー契約料)が発生するため、同窓会の入会金だけでは足りないので卒業生からの協賛金で賄ってきています。

同窓会のHPには各期からの報告を掲載できるようになっており、母校のHPともリンクしています。

## 4. 同窓会の会計状況と協賛金制度

今年度同窓会は、HP維持費や通信費など同窓会の活動に約6万円、母校や後輩への支援に10万円支出しました。また、過年度には、60周年事業の記念品等の費用として30万円余りを負担しました。収入は、59期卒業生の入会金が3万円余で、例年は同窓生から協賛金を募り、活動費・支援に充当していますが、60周年の寄付金を283名の卒業生から157万円頂きましたので、昨年度は協賛金募集は実施していません。

## 5. 役員と委員会 :: 2011年12月10日の幹事会で役員が選任されました。役職:氏名(期、委員会)

会長 : 栗原 清一(3期)

副会長 : 大谷 啓(1期, 渉外)、愛甲 勝久(2期, 広報)、吉田 安輝(8期, 組織)、島崎 守(10期, 会計)

幹事長 : 柳沢 道隆(9期, 渉外)

他に常任幹事10名、監査2名で運営しています。

## 6. 同期会開催と名簿作成への支援

同窓会では各期の幹事やその候補となる卒業生の名簿を作成し、各期との連絡を進めてきました。

同期会を開催するため名簿作成など新たに活動を開始する期には支援をしています。

皆さん方も同窓会の役員を選んでいただいています。その方々を中心に、卒業してからも同級生との交流を継続させ、また母校や後輩への支援をお願いします。

## 7. 同窓会への連絡

ホームページのアドレスは《 <http://www.nakano10cyu.org/> 》です。

中野十中で検索すると学校のHPや同窓会のページが出てきます。

同窓会へは、ホームページの「事務局への連絡」をクリックするとHP管理者に送信できます。

郵便は 〒164-0011 中野区中央 1-41-1 中野十中気付「中野十中同窓会事務局」宛として下さい。

【以上です】 (2016年3月16日) 同窓会長 三期生 栗原 清一